

山口大学 Topics & News

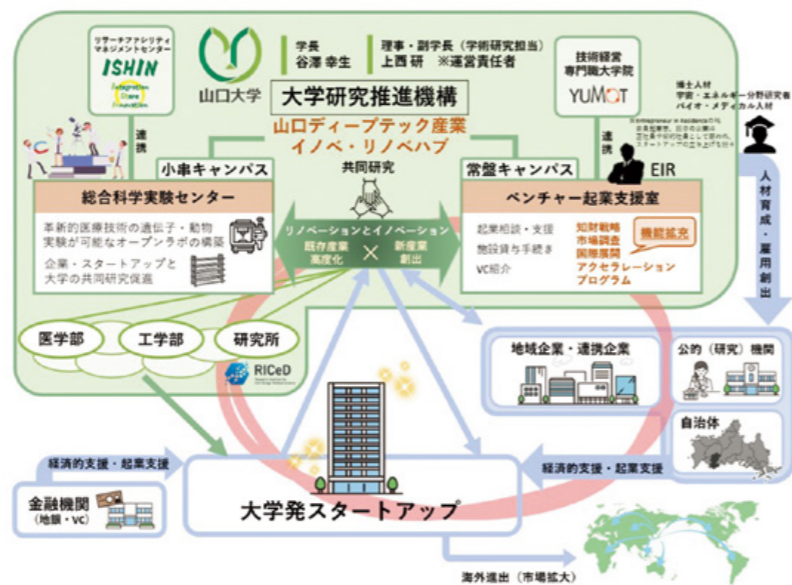
01▶ 山口ディープテック産業イノベ・リノベハブを新設し、地域経済活性化へ

令和7年4月23日、経済産業省 令和6年度補正予算 中小企業産業技術・環境・産業標準政策推進事業費補助金「地域大学のインキュベーション・産学融合拠点の整備（Jイノベ拠点 プラットフォーム型）」に採択されました。

本事業では、山口県の地域課題である「就業者数及び県内総生産の伸び率の低下」を克服し、地域経済の活性化を目的に、新たな拠点として「山口ディープテック産業イノベ・リノベハブ」の整備を行います。新産業創出（イノベーション）と既存産業の高度化（リノベーション）との両面を強化するため、以下の整備に重点を置き取り組みます。

- 大学発スタートアップの創出・成長を支援する機能整備
- スタートアップ・新規事業創出のためのインキュベーション施設の増設
- 革新的医療技術の遺伝子・動物実験が可能なオープンラボの構築

また、事業の中心となる常盤キャンパス・小串キャンパスが所在する宇部市と連携し、地域の新たな産業価値を創出し、地域経済の活性化と雇用創出を実現する持続可能な産学連携モデルの確立を目指します。



02▶ 陸上競技部の國森郁光さんが世界陸上代表選手選考競技会に出場!!

令和7年7月4日(金)から6日(日)にかけて国立競技場で開催された「第109回日本陸上競技選手権大会」に、本学陸上競技部の國森郁光さん(教育学部3年)が出場しました。この大会は、同年9月の「東京2025世界陸上」日本代表選考も兼ねた日本最高峰の舞台です。國森さんは5月の中国四国インカレで800m・1500mの2冠を達成するなど、高い実力を発揮しています。



大会を前にした6月30日(月)には学内で激励会が開かれました。谷澤幸生学長らが出席する中、國森さんは「出場するからには表彰台を狙い、1秒でも速く走れるよう精一杯頑張りたい」と力強く抱負を語りました。これを受け、谷澤学長から「活躍を期待している。ぜひ決勝に残ってさらに上位を目指してほしい」と熱いエールが送られました。

大会では惜しくも決勝に進むことはできませんでしたが、國森さんは日本最高峰の舞台で堂々とした走りを見せてくれました。

03▶ 経営改善に大きく貢献した職員に対し学長表彰式を行いました

令和7年7月17日(木)、吉田キャンパス学長室にて「学長表彰式」を執り行いました。本法人の発展に功績があった場合や学術上有益な研究業績があった場合等、顕著な功績があった教職員を表彰するものです。

今回表彰されたのは、電気料金の見直しに取り組んだ11名の職員です。吉田・小串・常盤の3キャンパス合同でワーキング・グループを立ち上げ、検討を重ねた結果、大幅なコスト削減を実現。大学の経営改善に大きく貢献したことが高く評価されました。式では、谷澤幸生学長から一人ひとりに表彰状が授与され、その功績を



称えるとともに、今後の活躍を期待する激励の言葉が贈られました。表彰式後の懇談会ではコスト削減の方策について意見交換も行われました。入札参加者を増やすための工夫や、新たなアイデアが提案されるなど、会は和やかな雰囲気の中で終了しました。

04▶ 山口大学体育会自動車部へ車を寄贈いただきました

令和7年8月9日(土)、株式会社トヨタレンタリース山口様より、山口大学体育会自動車部へ車両をご寄贈いただきました。



寄贈にあたり同社の藤本浩社長からは、「自動車部の部員が代々アルバイトとして活躍してくれている。今回はそのお礼の気持ちを込めて車を贈る。今、アルバイトしてくれている学生は、この車に乗って大会で優勝すると言っていた。ぜひ頑張ってほしい」と激励の言葉をいただきました。これを受け、部長の高山晃寿さん(工学部3年)は、「これまでの繋がりをきっかけに、今回、車を寄贈いただきとてもありがたいと思う。これから競技規定が変わるが、今回いただいた車であれば、新しい規定でのレースに出場可能になる。これからも練習に励んで、全日本選手権で優勝したい」と感謝と決意を述べました。

式典後には、参加者同士の談笑が広がるなか、藤本社長のご厚意で、社長が乗ってこられた電気自動車の見学会とともに、藤本社長の運転による即席の試乗体験会も行われました。会場は世代を超えた「クルマ好き」たちの熱気と笑顔に包まれ、車談議に花が咲きました。

この度、多大なるご支援を賜りましたトヨタレンタリース山口様に、心より感謝申し上げます。

05▶「第6回宇部 SDGs パブリック・ディベート大会」において 医学部医学科のチームが優勝!

令和7年11月8日(土)に男女共同参画センター・フォー・ユー(宇部市)において開催された「第6回宇部SDGsパブリック・ディベート大会」に本学の学生が参加し、医学部医学科のチームが優勝、教育学部学校教育教員養成課程小学校総合選修のチームが準優勝しました。

この大会は、宇部市を中心とした中学校、高等学校、大学の学生が参加し、年に一度開催される大会です。パブリック・ディベートの特徴は、

一般市民にも理解できるように、常識的なエビデンスに基づいたスピーチを行うことにあります。内容が理解しやすいことで、多くの市民が議論に参加できる機会を促進することに繋がります。このようなパブリック・ディベートを実践する大会を通して、社会において議論する文化を育むことを目的としています。第6回となる今大会では、「生物多様性と人間の共存に向けて」をテーマにディベートが行われました。

優勝した医学部医学科チームの学生からは、「生物多様性という難しいテーマに対して、医学的な観点からアプローチできないかとチームで力を合わせて考えた。試合では、相手チームと議論を進める中で、お互いの政策を建設的に深めあうことができ、とても有意義な時間になった」と感想が寄せられました。



06▶世界で最も影響力のある科学者トップ2%リストに 本学の教員がランクイン!

アメリカのスタンフォード大学とオランダのエルゼビア社が作成・公表した「科学分野で世界的に高い影響力を持つ研究者リスト (Top 2% Scientist リスト)」の最新版(2025年9月19日付けで更新・発表)において、「単年」区分に本学の教員13名※がランクインしました。

同リストは、エルゼビア社が提供する学術データベース「Scopus」の情報を基に、22の主要分野および174のサブ分野における研究者を対象として分析したもので、総被引用回数、h-index、単著論文数、個別引用論文数など、複数の指標を総合的に用いて行われています。

この国際的に権威あるリストに選出されたことは、本学の研究活動が世界水準で展開し、その成果が幅広い分野で影響力を持っていることを示しています。

※2025年11月1日現在、本学に在籍している教員をカウント



Financial data Governance

— 財務データ・ガバナンス —

